

認定調査員テキスト2009 改訂版 正誤表

番号	箇所	誤	正
1	18 ページ 5. 認定調査票（基本調査） の記載方法と留意点 12 行目	介助の方法	<u>「介助の方法」</u>
2	18 ページ 5. 認定調査票（基本調査） の記載方法と留意点 19 行目	有無（BPSD 関連）	<u>「有無（BPSD 関連）」</u>
3	65 ページ （4）異なった選択が生じや すい点 対象者の状況	強度の視野狭窄があり、外出 ができない等の日常生活で の支障があり、 <u>約 1m 離れた 距離でも、視野から少しでも 外れると全く見えない。視野 内に確認表をおけば見える。</u>	強度の視野狭窄があり、外出 ができない等の日常生活で の支障がある。 <u>視力確認表を 本人の正面に置くと、約 1m 離れた距離に置いた場合でも、 目の前に置いた場合でも、 視野狭窄により全く見えない。 視野狭窄のない視野内に 視力確認表を置き直すと 約 1m 離れた距離から見える。</u>
4	65 ページ （4）異なった選択が生じや すい点 正しい選択肢と留意点等	「4. ほとんど見えない」を 選択する。	<u>「1-12 視力」の確認方法に おいては視野狭窄や視野欠 損等がある場合も、あくまでも 本人の正面に視力確認表 をおいた状態で行うことが 原則であり、「約 1m 離れた視 力確認表の図」が見えない状 況に加え、「目の前に置いた」 場合にも見えないことから、 「4. ほとんど見えない」を 選択する。</u>
5	81 ページ 2-5 排尿 （1）調査項目の定義 3 行目	「トイレやポータブルトイ レ、尿器等の <u>排尿直後</u> の掃 除」	「トイレやポータブルトイ レ、尿器等の <u>排尿後</u> の掃除」

6	82 ページ 2-5 排尿 特記事項の例 上段 2 行目	「3. 一部介助」を選択する。 <u>。</u>	「3. 一部介助」を選択する。 <u>。</u>
7	84 ページ 2-6 排便 (1) 調査項目の定義 3 行目	「トイレやポータブルトイレ、排便器等の <u>排便直後</u> の掃除」	「トイレやポータブルトイレ、排便器等の <u>排便後</u> の掃除」
8	96~98 ページ 2-1 1 ズボン等の着脱 ページ上部枠内	<u>ズボン</u> の着脱 (介助の方法)	<u>ズボン等</u> の着脱 (介助の方法)
9	107 ページ 3-5 自分の名前を言う (3) 調査上の留意点及び特記事項の記載例	<p>なお、調査当日の状況と調査対象者や介護者から聞き取りした日頃の状況とが異なる場合は、一定期間 (調査日より概ね過去 1 週間) の状況において、より頻回な状況に基づき選択を行う。その場合、調査当日の状況と日頃の状況との違い、選択した根拠等について、具体的な内容を特記事項に記載する。</p> <p>旧姓でも、「自分の名前をいう」ことができれば、「1. できる」を選択する。</p>	<p><u>旧姓でも、「自分の名前をいう」</u>ことができれば、「1. できる」を選択する。<u>。</u></p> <p><u>なお、調査当日の状況と調査対象者や介護者から聞き取りした日頃の状況とが異なる場合は、一定期間 (調査日より概ね過去 1 週間) の状況において、より頻回な状況に基づき選択を行う。その場合、調査当日の状況と日頃の状況との違い、選択した根拠等について、具体的な内容を特記事項に記載する。</u></p>
10	114 ページ 本文 3 行目	「あったか、なかったと」	「あったか、なかった <u>か</u> と」
11	130 ページ (1) 調査項目の定義 3 行目	「話 <u>し</u> 」	「話」
12	132 ページ (1) 調査項目の定義 2 行目~3 行目	「(水を飲 <u>ませ</u> る)」	「(水を飲 <u>む</u>)」
13	142 ページ (3) 調査上の留意点及び特記事項の記載例 3 行目	「当該 <u>の</u> 」	「当該」